

取組概要

環境モデル都市・おびひろ

都市の基礎データ

人口：16.1万人	（2024年3月末）	面積：619.34km ²
世帯数：9.0万世帯	（2024年3月末）	人口密度：260人/km ²
就業人口：7.5万人	（2020年国勢調査）	主要産業：農業・商業・サービス業
域内GDP：6,961億円	（2021年度）	森林率：41.2%

取組事例

耕畜連携による取組の推進により、基幹産業である農業に係る排出削減

再生・自然・未利用
エネルギーの活用

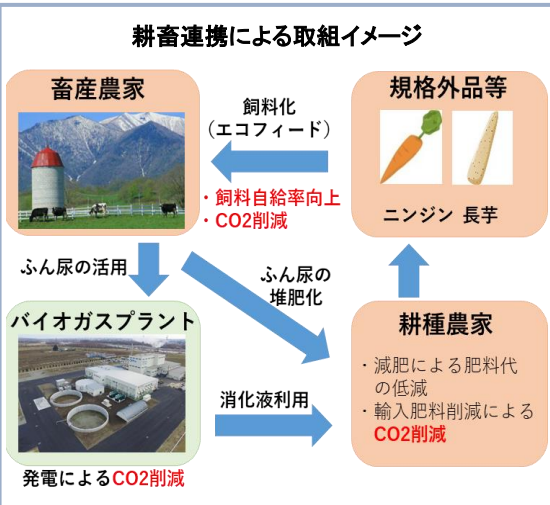
地域活性化・
雇用創出

○ 耕畜連携、バイオマスの利活用を進め、農業の活性化及び69,766 t の温室効果ガス削減に寄与しました

【関連する取組】

- ・2-1 農産物残さ等の有効活用
- ・2-2 家畜排せつ物等の利活用の推進 等

（様式5参照）



【課題・今後の展開等】

引き続き、農業由来の豊富なバイオマスの有効利用を図るとともに、エネルギーとしてのさらなる活用も検討していく。

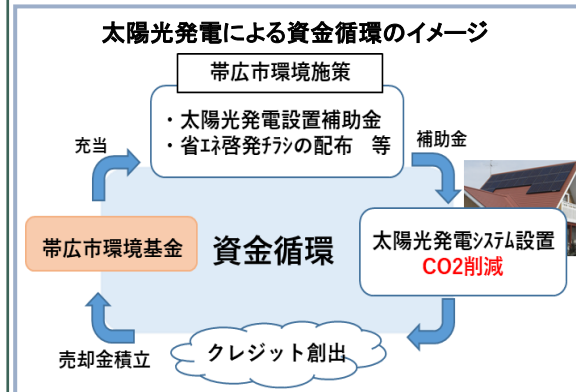
長い日照時間を活かした太陽光発電の普及による資金循環の仕組みの構築

再生・自然・未利用
エネルギーの活用

- 一般家庭への補助事業や普及啓発により、10kW未満の太陽光発電設置件数はおよそ3,400件、世帯普及率は北海道内の主要都市で最も高い（R6.3末）
- 太陽光発電設置による二酸化炭素排出削減量からクレジットを創出し、売却益を市環境基金に積み立て、環境施策の財源としています（H31～R5に計351万円を積み立て）

【関連する取組】

- ・3-10 家庭における太陽光発電の普及
 - ・5-7 環境基金の運用
- （様式5参照）



【課題・今後の展開等】

FIT制度の動向や停電対策などを踏まえ、蓄電池等による自家消費の観点からの普及促進も進めていく必要がある。

※太陽光発電設置件数、普及率は「固定価格買取制度 市町村別認定・導入量」（資源エネルギー庁）より推計

H30年度削減実績：219,131.9t-CO₂ ⇒ R5年度削減実績：313,558.6t-CO₂

（R5年度末削減目標：327,034.5t-CO₂ 目標達成率：96%）

部門別削減量等について（効果のあった取組） ※R5年度削減実績

産業部門

R5年度削減実績：232,711.3t-CO₂
（R5年度削減目標：240,278.0t-CO₂ 目標達成率：96.9%）

【主な取組】

- 自然と共生する循環型・環境保全型の地域づくり △220,580.2t-CO₂
 - ・農産物残さ等の有効活用 飼料仕向量：7,921.9t
 - ・家畜排せつ物等の利活用の推進 農地への堆肥施用面積：10,937.1ha
長いもネットの適正処理量：250.7t
 - ・森林整備による地域資源の循環利用の推進
森林資源蓄積増加量：82,788m³（R5年度末まで）等
- 広大な農地を温室効果ガスの吸収源とする取組の推進 △963.6t-CO₂
不（省）耕起栽培面積：292.0ha

【取組のポイントや課題】

- 農林業分野での取組が継続して、大きな削減効果を発揮している。
- 引き続き、農業由来の豊富なバイオマスの有効利用を図るとともに、エネルギーとしてのさらなる活用も検討していく。
- 平成27年度より十勝をフィールドに国が実施している「家畜ふん尿由来水素を活用した水素サプライチェーン実証事業」に本市も参画していた。現在においても家畜ふん尿由来の水素の利活用の可能性について情報収集を行っている。

家庭部門

R5年度削減実績：30,831.0t-CO₂
（R5年度削減目標：33,824.5t-CO₂ 目標達成率：91.1%）

【主な取組】

- 省エネ・高性能建築物の建築・改築 △7,610.4t-CO₂
 - ・省エネ住宅の建築数 7,641戸（R5年度末まで）
- 家庭における太陽光発電の普及 △16,492.9t-CO₂
 - ・導入件数 3,408件（R5末まで）
- 一般家庭への省エネ機器の導入促進 △4,251.6t-CO₂
 - ・エコキュート導入件数 2,457件（R5末まで）
 - ・エコジョーズ導入件数 4,987件（R5末まで）

【取組のポイントや課題】

- 家庭部門からの温室効果ガス排出量がコロナ禍において増加したことから、さらなる再エネ・省エネ機器の導入や市民の省エネ行動の促進が求められる。
- 太陽光発電は3,408件設置されており、世帯普及率は北海道内主要都市で最も高い。（帯広市推計）
- FIT制度の動向や停電対策等も踏まえ、電力の自立化の観点から蓄電池やコジェネの導入も進めていく。

※太陽光発電設置件数、普及率は「固定価格買取制度 市町村別認定・導入量」（資源エネルギー庁）より推計

運輸部門

R5年度削減実績：12,967.9t-CO₂
（R5年度削減目標：11,721.0t-CO₂ 目標達成率：110.6%）

【主な取組】

- 廃食用油のBDF精製 △275.3t-CO₂
 - ・家庭用廃食用油回収量 63,164 ℓ
 - ・業務用廃食用油回収量 41,896 ℓ
- エコカーへの転換 △12,418.2t-CO₂
 - ・普及台数 15,994台
- 環境にやさしい公共交通の利用促進 △208.6t-CO₂
 - ・高齢者おでかけサポートバス事業 バス無料乗車証利用延べ人数：747,629人
 - ・農村地区あいのりタクシー・バス運行事業 利用延べ人数：11,928人

【取組のポイントや課題】

- 家庭用廃食用油回収量は、年平均約120,000 ℓと安定的に推移し、BDFに再生されており、市民参加型の取組として定着したのとなっている。
- 広大な土地のため、自家用車への依存が高く、運輸部門からの排出割合も大きいことから、引き続き、脱マイカーやエコドライブ、エコカーへの転換、公共交通の利用促進を進めていく必要がある。

業務部門

R5年度削減実績：37,048.4t-CO₂
（R5年度削減目標：41,211.0t-CO₂ 目標達成率：89.9%）

【主な取組】

- 環境リサイクル施設集積（中島地区エコタウン） △513.8t-CO₂
 - ・バイオガスプラント発電量 1,072,591kWh
 - ・R5年には2.6haの用地を取得
- 道路照明灯、防犯灯の省エネ化 △1,867.7t-CO₂
 - ・道路照明灯への高圧ナトリウム灯、LED照明の導入
 - ・公園の省エネ照明器具や節水器具などの導入
 - ・町内会の防犯灯のLED化
- 公共施設の省エネ化 △674.6t-CO₂
 - ・公共施設への太陽光発電やLED照明の導入

【取組のポイントや課題】

- 企業などによる太陽光発電の導入など、実態の把握が困難となっている取組もあることから、事業者への働きかけやさらなる連携、国の公表値なども活用し、事業者の環境意識の向上や実態の把握に努めていく必要がある。